

a la carte.

2024.2

あらかると

445



2023年 (2022年12月～2023年11月)

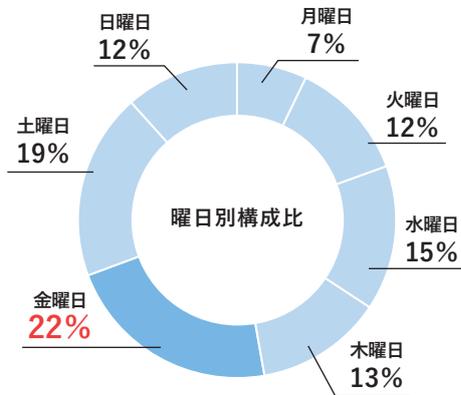
新聞折込広告調査

2023年(2022年12月~2023年11月) 新聞折込広告調査



【曜日別構成比】

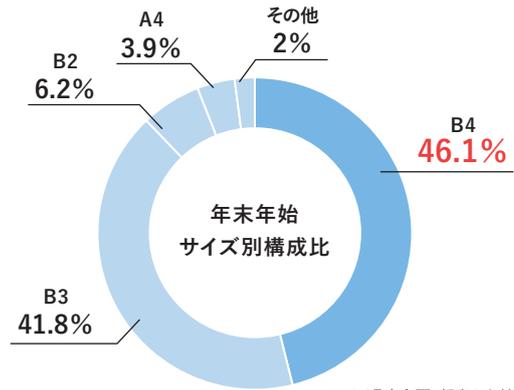
一番折込チラシが多く利用されているのが金曜日でした。週末にチラシが多くなる傾向なので、土曜日にも金曜と同様に利用頻度は高めです。逆に一番少ないのが月曜日です。日曜日、火曜日、木曜日はほぼ横並びで、週の真ん中の水曜日が若干多い傾向があります。



【年末年始出稿動向】(2022年12月30日~2023年1月5日)

年末年始は例年だとサイズの大きいB3サイズのチラシが多い傾向でしたが、年々チラシサイズが縮小傾向にあります。2024年はB3サイズ約42%に対し、B4が約46%でした。前年はあまりなかったA4サイズも増えており、チラシに多くの商品載せる内容から商品を限定して載せる内容に変わってきています。

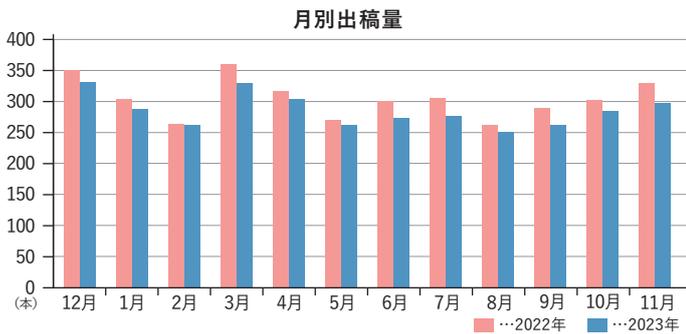
折込のタイミングとしては元日の1月1日が多く折込されます。2024年は1月1日の出稿量は微増、曜日の関係もあって1月5日は大きく増えました。地区別では郡山地区が前年より増えましたが、それ以外は減少傾向。特に福島地区が10%以上の減少となりました。



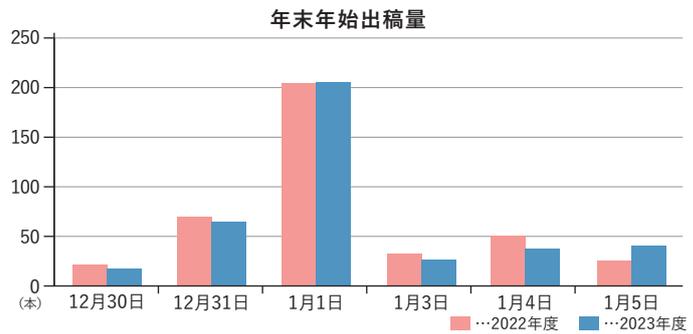
※県内主要4都市から抽出(当社比)

【月別出稿量】

すべての月で前年割れと出稿量が減少した1年でした。出稿量が最も多かった月が12月で、次いで3月、4月と続きます。長期連休のある5月・8月は出稿量が少ない傾向です。物価高による値上りの影響で前年に出稿量が多かった9月・11月はともに1割ほど減少し、下げ幅が一番大きい月となりました。



※1世帯あたりの月間平均折込枚数(J-NOA 出稿統計調査REPORT全国版 東北ブロックから抽出)



※1月2日は休刊日

【業種別出稿量】

業種別では半数以上を流通が占めています。その流通は前年比約93%と減少。流通に次いで多いサービス業は前年を上回る月が6ヶ月ありましたが、11月に前年比84%と落ち込み、通年では99%と前年並みとなりました。減少幅が大きかったのは不動産と通販でそれぞれ86%、82%となりました。

※1世帯あたりの月間平均枚数(J-NOA 出稿統計調査REPORT 業種別の月間折込枚数 東北地区を参照)

